

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立豊崎本庄小

学校

児童数

55

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.62	20.79	31.00	39.00	44.39	9.73	145.52	19.21	50.35
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	14.57	20.22	39.04	37.25	36.63	9.85	144.58	13.23	54.33
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

男子は「上体起こし」が全国よりも1ポイント上回った。また、女子は、全国よりも「上体起こし」が1.8ポイント、「長座体前屈」が1ポイント、「立ち幅とび」が2.2ポイント、「ソフトボール投げ」が0.1ポイント、「体力合計点」が0.3ポイント上回っている。課題であった「体力合計点」が、女子が上回る結果となった。質問項目「運動やスポーツをすることが好きですか」の回答状況は、肯定的な回答を見ると、全国平均が男子93.4%、女子85.8%に対して、本校は男子75.0%で、女子76.9%であった。また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、全国平均が男子9.8%、女子17.3%に対して、本校は、男子21.4%、女子12.5%であり、児童の運動することへの意識や総運動時間が運動能力に関係することが顕著に表す結果となった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

「なわとび週間」や「かけ足週間」などを設定し、児童が目標をたて、意欲的に運動をできる環境を整えてきた。さらに、学校全体でなわとび大会やシャトルラン大会を実施するなど、目標を設定することで、取組に対して最後まで目標達成をめざして継続して取り組む姿が見られた。また、運動場で行う際にサーキットトレーニングを行い、様々な動きを取り入れて、基礎体力の向上を図るとともに、整理体操にストレッチを取り入れ、柔軟性を高めるとともにけがの防止に努めた。さらに、休み時間の運動場では、教職員も児童と一緒に体を動かすように努めることができた。しかし、運動能力の低下（走る・跳ぶの運動など）は外遊びが減っていることにも原因があるように思われるので、休み時間にはボール運動以外に外遊びで楽しめるものを紹介するなどし、一層体力の向上に努める。今後も継続して、体育科の学習の中で、基礎体力の向上を意識した授業づくりに努める。さらに、夢授業やステップアップ事業、校長経営戦略予算を活用するなどして外部講師を招聘し、専門的な指導も取り入れていきたいと考える。今後も、児童が体を動かす楽しさや喜びを感じさせるとともに、大切さを考えさせ、児童の意欲と能力を高められる方策を講じていきたい。